

みなしご通信



新広島県動物愛護センター落成

できたばかりの広島県動物愛護センターの落成祝いのビッグイベントとして、広島県内各市町の動物愛護行政機関の職員へ向けて犬猫みなしご救援隊の理事長の私中谷百里が講師となり職員が成すべきことを教えるというか全国の市町が実際にやっている《取り組みの市町も負けずにやってみいやほいで町も市も県もななく広島県がひとつになって日本一を目指そうじゃないか！》という話をしました。

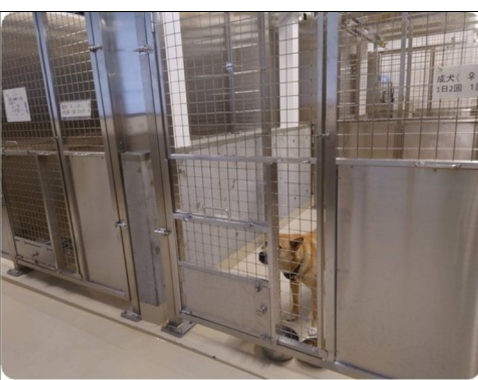
まず野良猫問題を解決するにはは出口対策より入口対策！今のままじゃ水は出っぱなし！蛇口を閉めにやあどがくもならん！じゃからと言つていきなりハードルの高い地域猫活動をやるう思うても必ず近所のわからず屋のジジイが出てきて「猫なんか要らん！」とか騒いで大反対する！それで心が折れたんじゃジジイの思うツボじゃ！だから地域猫活動は置いてTNR活動をやっていこう！とにかく今行政職員がすべきことは野良猫の不妊・去勢手術TNRの周知徹底！そしてTNRぐらいは広島県にばかり頼らず市町レベルで立ち上げられ！やる気を見せろ！やる気がある市町には私ができる限り協力する！私はどこでも行くし何でもやる！みたいなことを熱く厚く暑く語りました(笑)

広島県動物愛護センターの森中くんが真面目な話をして参加者が脳を使った後での中谷登場だからとつかかり的にはアウエーな感じ(笑)それがまた私的にはオモロイ！と思いきり最初から飛ばす飛ばす！猫多頭飼養崩壊の話もしましたよん！私は猫多頭の救援活動ならおそらく日本一やってますしね。なんとたつて犬猫みなしご救援隊は猫多頭崩壊現場の解決率100%ですも(笑)一般の講演会やみなしご庵のときと同じように「講演はこれで終わるけど私はそこにおけるけえ個別の質問にも答えるし難しい相談にも乗りますよ！」と言ううと結構な数の職員さんが居残りして質問も相談もきたので手ごたえあり！1回目としたら大成功じゃないですかね！市も町も島しょ部も同じ広島はひとつですけえ！

そのあと柳本所長とセンターのアイドルそねボイに新センター内を案内していただきました。猫エリアだけでも3段階あつて検疫は十分です。当たり前ですが猫エリアはガラガラ(笑)年間何千匹もの猫が殺処分されていたあのころから考えたら新しくできたセンターは夢のような施設でありそこで働く職員の質も驚くほど向上しオバチャンのには感無量♪犬エリアも3段階あつてやはり検疫はじゅうぶんです。広島のを離れて暮らしている広島県人の方々！広島のことには心配せんでええですよ広島はすでに殺処分しない県ですし私の目の黒いうちはこれからもつともつと動物に優しい県になりますけえ♪

処置室には「こんなモン要るんか？」と思うぐらい高価な機器が揃うとる！金を持つとるのう広島県は！レントゲン室！要らん要らん(笑)許可なく立ち入りを禁ず：そう言われると入つてみたいのが人情！入つてみるとすごいレントゲンあり！要らん要らん：折れたもんは折れとるしマジな話私はレントゲンを欲しいと思うたことはないんよね。

手術室：高そうな手術台を1台買うぐらいなら安価な手術台が何台もあつた方が効率があつたらうに。ガス麻醉用にモニターも揃うとるがこれ実際は使わんじゃろ？「はい！猫は注射麻醉だから猫では絶対に使わないし犬でも手術時間が早いからあんまり使わんですよ」そうなんです！猫のTNRの手術にガス麻醉を使うのはスキマ産業獣医だけ♪そうだ！スキマ産業獣医か否かわかるかも！「ガス麻醉ですか？注射麻醉ですか？」出張TNRでガス麻醉を使う獣医はかなりヤバいっす！気管挿管もせずモニターもない状況でガスを吸わせ過ぎたら死にますけえね！検査機器みたいなものもありました。要らん要らん(笑)犬も猫も猿も熊も鳩だつて顔色を見て動きをよく観察

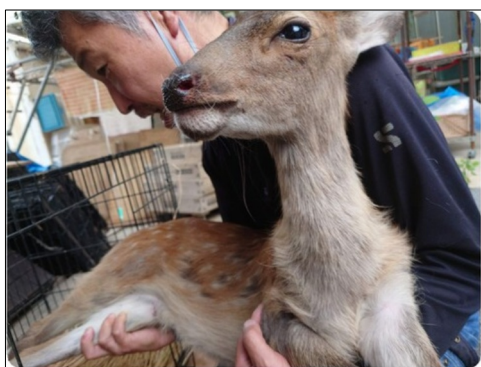


したらたいがいどこが痛いかわかるじゃろ。

犬とのふれあい室。ここでお互いの相性とかみるんだそう：もちろん猫の部屋もありましたよー中庭があったりとかくいろいろな部屋がいっぱいあって目が回りそう『こりやく泥棒に入っても迷いこんで帰れん』と思いましたが(笑)だからと言つて『設計や設備の面では』自称・動物愛護家としてもシェルター運営をしている愛護団体の代表者としても特に『目を見張るほど』感動する点はなく、逆にこれは要らんじゃろ！とかなんでここに柵がないん？とか気になってしもくて普通の設計士じゃそままでわからんのじゃろが愛護の発想的にはまだまだ！と思いましたが(笑)

負傷鹿を救え

犬猫みなしご救援隊広島本部付近は鹿やイノシシがたくさん棲んでるド田舎ですがさらにうちよりド田舎に住んでる行儀の悪いヤツ



らが車を飛ばすもんで鹿や猫やタヌキやアナグマなどがよく事故死しています。※事故死したイノシシは今まで1回しか見たことがない。つい先日田原くんが路肩付近で子鹿の遺体を発見し『うちで火葬しちゃろ』と思つて近づいたら「息をしとつてたまげた！」と負傷子鹿を連れて帰つて来ました。12〜15キロの子鹿です。頭を強く打つてみるみたいで意識はもうろう前足がひどく腫れているので『前足を骨折しとるけえ入れるときに気をつけんさい』負傷部位が頭と前足だけで内臓が無事なら全く問題ない！イケる！こういう

ときに大切なことはものごとを絶対にポジティブにとらえること、そして周りを『イケる空気』で満たすこと。それが私の役目『大丈夫！』と言えばうちの者は「ヨシ！」と思ひ大きな自信になります♪

強めの痛み止めを点滴で入れ静かにさせ、ブラベクトも必ずやります。負傷猫と同じです。保護した日にすることは痛みを完全にとりノミ・マダニ即刻駆除これだけです。イケると言い切つたくせに何度も様子を見に行く私。その夜頭を上げていたのでキウイフルーツとりんどぶどうを与えてみました。クチの中に無理やり入れるとムシヤムシヤしましたが吐き出します。当たり前よね。それにしてもデブにこの体勢は拷問：ケージの中に1分入つては出て息を整え再びトライ！朝まで静かに寝かせたいけど反すうの邪魔もできないので朝より少量の痛み止めを翌朝鹿が食べそうな草類に置いてみ



ました。食べたわけもなく事故から2日目。反すう動物にいつまでも点滴だけつてわけにもいかないのでりんご・なし・ぶどう・キウイで強食を作りました。左前足は4ヶ所ぐらいバキバキに骨折してますね。

私はこう見えて車の運転は非常に紳士的です。絶対に飛ばさないし普通に道も譲ります。皆さまも車を運転するときに人が居ない道こそ道路わきから動物が飛び出てくることを想定してください。車にハネられて助かる動物は少ないです！

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
 www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金
 ▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。